

生と死 神秘的に表現

舞踏家の原田伸雄さん(68)
「福岡県小郡市」が31日、熊本市中央区世安町の新聞博物館(熊日内)で、ダンスパフォーマンスを披露した。同館で1日開幕する展覧会「M7・3地球の声を聞く『消えたもの／現れたもの』」(熊日主催)のオープニングイベント。

原田さんは福岡を拠点に活動する女装舞踏家。生と死のはざまにあるものを、即興の舞踏で表現している。熊本地震をテーマにした展覧会の趣旨に賛同し、出演した。

原田さんは、顔を白塗りして、ウェディングドレスをまとい登場。生命の誕生などを感じさせる映像をバックに、体をゆっくりとそらしたり、手をしなやかに動かしたりしながら神秘的な空間を表現した。

原田さんは「観衆の背後にある、すぐく真つすべな気持ち伝わった。みなさんが踊らせてくれた」と話していた。

「M7・3」は、崇城大芸術学部やポーランドの美術学校の学生らがグラフィックアート作品など約40点を展示する。観覧無料。8月31日まで。
(中原功一朗)

舞踏家・原田伸雄さん



映像をバックにダンスパフォーマンスを見せる舞踏家の原田伸雄さん
熊本市中央区(高見伸)

「M7.3地球の声を聞く」展 新聞博物館できょう開幕

2017年8月1日 熊本日日新聞 P.14